

# Sound Blaster

CREATIVE®  
WWW.CREATIVE.COM



BLASTER® *Live!*™

5.1

User's Guide

## Creative Sound Blaster Live! Creative Audio Software

本書の内容は、予告無く変更される場合があります。Creative Technology Ltd. の責務を表すものではありません。電氣的、又は、機械的の別やその形式、方法を問わず、どのような目的であれこの説明書のいかなる部分も Creative Technology Ltd. の書面による許可を得ることなく、複製したり伝送したりすることは出来ません。これには、写真複写や録音も含まれます。本書で説明されるソフトウェアは、ライセンス契約のもと供与されるものであり、ライセンス契約の条項に反してこれを使用したりコピーしたりすることは出来ません。ライセンス契約で特に許可されている場合を除き、ソフトウェアを他のメディアにコピーすることは、法律違反となります。ライセンス受諾者は、バックアップとしてソフトウェアのコピーを1部作成することが出来ます。

Copyright © 1998 - 2003 by Creative Technology Ltd. All rights reserved.

第 1.5 版

2003 年 9 月

Sound Blaster、及び Blaster は、アメリカ合衆国、その他の国、又は、その両方での Creative Technology Ltd. の登録商標で、Sound Blaster Live! のロゴ、Sound Blaster PCI のロゴ、EAX、Oozic、及び Creative Multi Speaker Surround は、同社の商標です。

E-Mu、及び SoundFont は、E-mu Systems, Inc. の登録商標です。Cambridge SoundWorks、Micro Works、及び PCWorks は、Cambridge SoundWorks, Inc. の登録商標であり、PCWorks FourPointSurround は、同社の商標です。Microsoft、MS-DOS、及び Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories の許可を受けて製造されています。Dolby、AC-3、Pro Logic、及びダブル D シンボルは、Dolby Laboratories の商標です。© 1992 - 1997 Dolby Laboratories, All right reserved. その他の製品は、それぞれの所有者の商標、又は、登録商標です。

このカードは、以下の 1 つ、又は、それ以上の合衆国特許を受けています。

4,506,579; 4,699,038; 4,987,600; 5,013,105; 5,072,645; 5,111,727; 5,144,676; 5,170,369; 5,248,845; 5,298,671; 5,303,309; 5,317,104; 5,342,990; 5,430,244; 5,524,074; 5,698,803; 5,698,807; 5,748,747; 5,763,800; 5,790,837.

# 目次

はじめに	
システム条件の確認 .....	iv
ドライバのアップデート .....	v
詳細情報 .....	v
表記の規則 .....	v
<b>1 ハードウェアの取り付け</b>	
用意するもの .....	1-1
Sound Blaster Live! カード各部の説明 .....	1-2
ステップ 1: ハードウェアの取り付け準備 .....	1-3
ステップ 2: Sound Blaster Live! カードの取り付け .....	1-4
ステップ 3: CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブへのケーブルの接続 .....	1-5
ステップ 4: 電源の接続 .....	1-6
デジタル音楽 CD 再生を有効にするには .....	1-6
関連周辺機器との接続 .....	1-8
スピーカーシステムとの接続 .....	1-9
AV アンプ (アナログ 6ch) への接続 .....	1-10
スピーカーの配置 .....	1-11
<b>2 ソフトウェアのインストール</b>	
ドライバ、及びアプリケーション .....	2-1
注意事項 : Windows 2000 をご使用の場合 .....	2-2
アプリケーションの削除 .....	2-3
ソフトウェアの再インストール .....	2-4
<b>3 Sound Blaster Live! の使用</b>	
Sound Blaster Live! の使用 .....	3-1
Creative Surround Mixer .....	3-2
Creative AudioHQ .....	3-2

Creative Diagnostics.....	3-2
SoundFont コントロール .....	3-3
Creative キーボード .....	3-3
EAX Control.....	3-3
Creative Wave Studio .....	3-3
Creative PlayCenter.....	3-4
Creative Recorder.....	3-4

## A 仕様

特徴.....	A-1
PCI バスマスター .....	A-1
EMU10K1™ .....	A-1
ステレオデジタルボイスチャンネル .....	A-1
AC '97 Codec ミキサー .....	A-1
ボリュームコントロール .....	A-2
ドルビーデジタル ( AC-3) デコーディング .....	A-2
Creative Multi-Speaker Surround™ (CMSS™).....	A-2
接続性 .....	A-3
オーディオ入力 .....	A-3
オーディオ出力 .....	A-3
インタフェイス .....	A-3

## B トラブルシューティング

ソフトウェアのインストールに関する問題 .....	B-1
サウンドに関する問題.....	B-2
VIA チップセットのマザーボードの一部に見られるファイル転送の問題 ..	B-6
不十分な SoundFont キャッシュ .....	B-7
ジョイスティックに関する問題.....	B-8
I/O コンフリクトの解決方法.....	B-9
Windows XP での問題 .....	B-10

# はじめに

Sound Blaster Live! はゲーム、ムービー、CD、MP3 ソング、及びその他のインターネットエンターテイメントに最良のオーディオソリューションです。Sound Blaster Live! は最先端のオーディオ規格である EAX をサポートしており、リアルで多次元的なサウンドとマルチテクスチャーの音響環境を生成して非常にリアルな 3D オーディオ体験を実現します。Sound Blaster Live! に搭載された強力な EMU10K1 オーディオプロセッサは最適な CPU の動作で最高の忠実度と絶対的な明瞭さをもたらします。5 台、又は、6 台のスピーカーと組み合わせることにより EAX 対応ゲームでリアルな 3D オーディオを体験したり、正真正銘のサラウンドサウンドで楽しんだりすることが出来ます。

## システム条件の確認

このサウンドカードに必要な動作環境は、以下のとおりです。

- Intel Pentium II 350MHz 以上のプロセッサ
- Intel 製チップセット推奨 (440BX 以降)
- Windows 98 SE、Windows Me (Millennium Edition)、Windows 2000 (Professional 版 SP2 以降)、又は、Windows XP
- 128MB 以上のメインメモリー
- 600MB 以上の HDD 空き容量
- PCI 2.1 仕様の空き PCI スロット 1 つ
- 空いている (シェアリングしていない) 使用可能な IRQ 1 つ
- ヘッドフォン、又は、アンプ内蔵スピーカー (別売)
- ソフトウェアインストール用の CD-ROM ドライブ
- インターネットにアクセス可能な環境 (オンラインユーザー登録やドライバのアップデートの為に必須)

Sound Blaster Live! は、選択したハードディスクでインストールに必要なディスク容量の概略値をインストール画面で表示します。アプリケーションの中には上に示した値を超えるものもあるかもしれません。オンライン文書 (README や HELP ファイル) を参照して詳細な仕様をご確認下さい。パッケージに含まれているアプリケーションによっては、基本的な機能を使用するのにより高度のシステム環境やマイクが必要になる場合があります。詳細はそれぞれのアプリケーションのオンラインヘルプを参照して下さい。

## ドライバのアップデート

最新のドライバのアップグレードは必要に応じて行なわれ、すぐにダウンロード (注: 全てのアプリケーションがダウンロード出来るわけではありません。web では、必要最小限のドライバアップデートに限定されます。) 出来るので、カードを常に最新の状態に保てます。

## 詳細情報

MIDI仕様やコネクタピンの割り当て、そしてオーディオパッケージに含まれるさまざまなアプリケーションの使用方法については、オンラインのヘルプを参照して下さい。

<http://japan.creative.com> では購入方法、テクニカルサポート、最新ドライバの更新などに関する情報が提供されます。

## 表記の規則

このガイドでは必要な情報を探しやすくするために以下の表記規則が使用されています。



ノート型のアイコンは特に重要な情報を示しており、作業を続ける前に考慮しておく必要があります。



アラーム時計は危険を伴う状況を避けるために役立つ注意を表します。



警告のマークは人体を傷つけたり機器に恒久的なダメージを与える危険性を表します。

# ハードウェアの取り付け

## 用意するもの

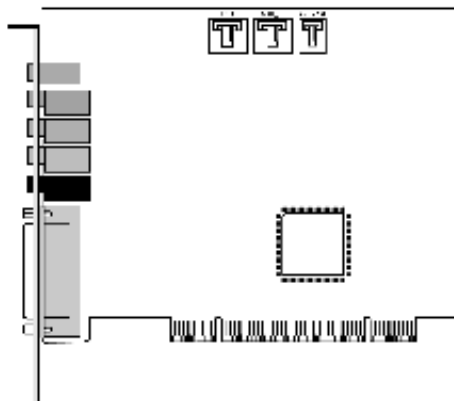


製品のリビジョン、または本製品をご購入された地域によっては、カードの外見が図と異なる場合があります。



図中のコネクタのいくつかは、特定のモデルにのみ実装されている場合があります。

取り付けを行う前に、以下のパーツと工具がそろっているか確認して下さい。



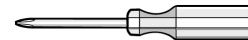
Sound Blaster Live! カード



デジタルCDオーディオケーブル\*



アナログCDオーディオケーブル\*



プラスドライバー  
(同梱されていません)

\*一部の Sound Blaster Live! カードにのみ付属しています。

# Sound Blaster Live! カード各部の説明



製品のリビジョン、または本製品をご購入された地域によっては、カードの外見が図と異なる場合があります。



図中のコネクタのいくつかは、特定のモデルにのみ実装されている場合があります。

SBLive! カードには、他のデバイスを接続することができる以下のようなジャックやコネクタがあります。

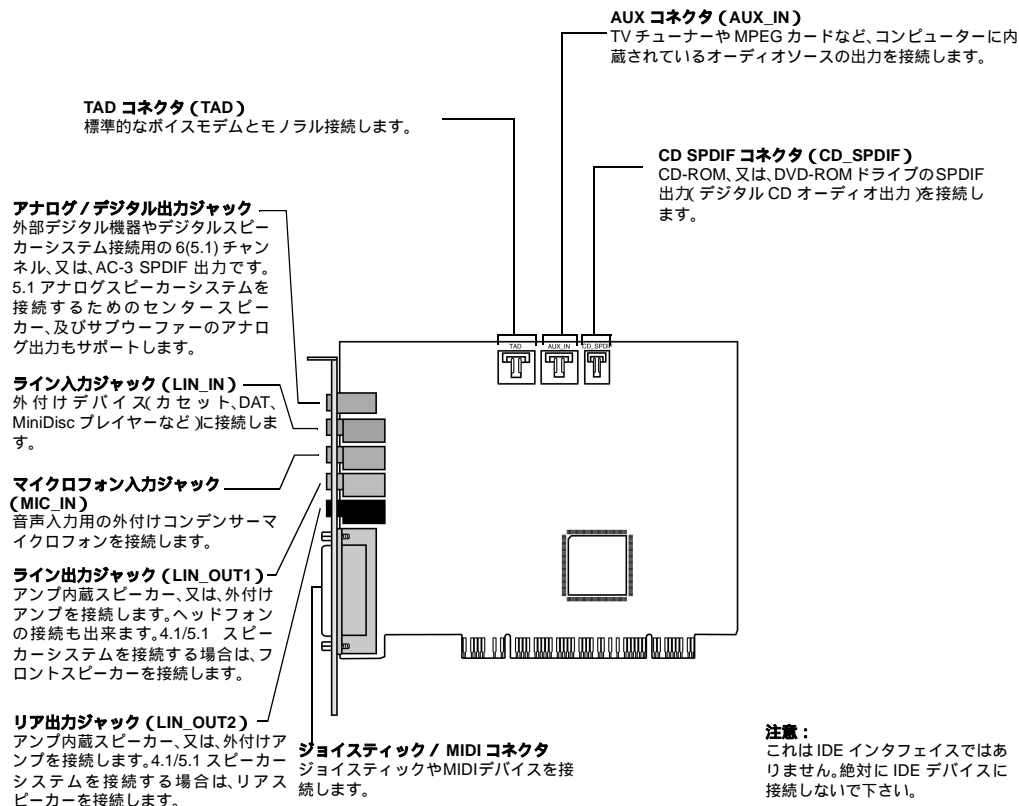


図 1-1 Sound Blaster Live! カードのジャック、コネクタ、及びポート



## ステップ1: ハードウェアの取り 付け準備



主電源を切って、コンピューターの電源コードを抜きます。ATX の電源ユニットを使用するシステムでソフトによる電源の切断を行った場合、PCI スロットへの電源供給が持続される場合があります。この際、スロットにサウンドカードを挿入すると、カードを破壊する可能性があります。



既存のサウンドカードは全て取り去り、オンボードのオーディオ機能は無効にして下さい。詳細については、お使いのコンピューターのマニュアルを参照して下さい。

1. コンピューターと周辺機器全ての電源を切ります。
2. コンピューターの金属部に触れ、身体に帯電した静電気を放電し、電源コードを壁のコンセントから抜き取ります。
3. コンピューターのカバーを取り外します。
4. 空いている PCI 拡張スロットから金属プレートを取り外します。ネジは後で使用するので、別に保管しておきます。

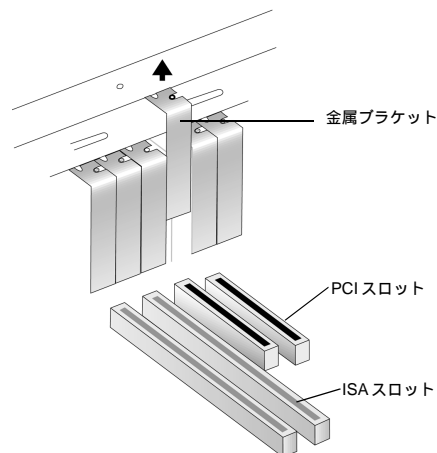


図 1-2 金属プレートの取り外し

## ステップ2: Sound Blaster Live! カードの取り付け



カードを無理にPCIスロットに押し込まないで下さい。カードがスロット内に適切に収まらない場合は、一度カードを抜き取り、スロットに挿入しなおして下さい。

1. 空いている PCI 拡張スロットにカードの位置を合わせ、図 1-3 のようにして無理な力をかけずに均等に Sound Blaster Live! カードをスロット内に押し込みます。カードが確実に PCI 拡張スロット内部に収まっていることを確認します。

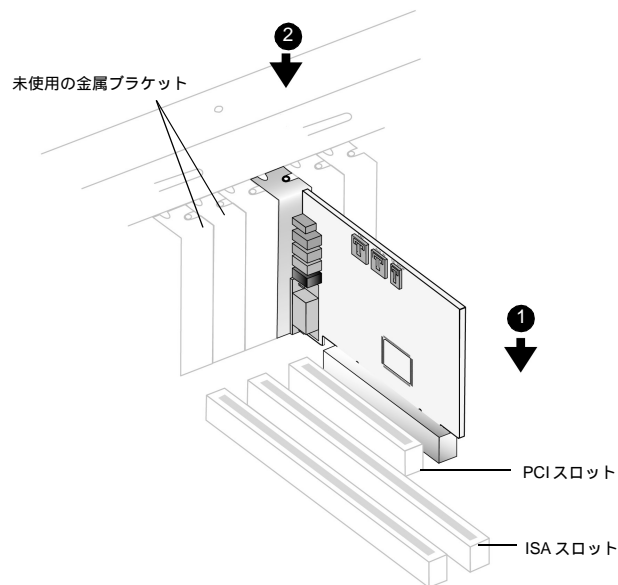


図 1-3 PCI 拡張スロットへの Sound Blaster Live! カードの取り付け

2. 取っておいたネジで Sound Blaster Live! カードを固定します。

### ステップ3: CD-ROM、又は、 DVD-ROMドライブ へのケーブルの接続



- アナログ CD オーディオケーブルが同梱されていないモデルもあります。
- Sound Blaster Live! カードを CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブの CD\_SPDIF と CD オーディオコネクタの両方に接続する場合には、Surround Mixer で [CD (オーディオ)] と [CD (デジタル)] オプションの両方を同時に有効にしないで下さい。
- Windows のデジタルオーディオ CD 再生機能を用いると、AUX\_IN を用いて CD-ROM ドライブを接続するより高音質で音楽 CD を聴くことができます。

デジタル音楽 CD 再生 (CDDA) を使って音楽 CD を再生する場合、音楽 CD から抽出されたデジタル信号は、アナログ CD オーディオケーブルとデジタル CD オーディオケーブルの代わりに、CD/DVD-ROM ドライブを繋いでいる IDE ケーブル経由で転送されます。

詳細については、1-6 ページの「デジタル音楽 CD 再生を有効にするには」を参照して下さい。

デジタル音楽 CD 再生が有効にならない場合は、オーディオケーブルを使用して以下の方法でサウンドカードに接続する必要があります。

アナログ CD オーディオ出力の接続：

- ▶ アナログ CD オーディオケーブルを CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブのアナログ CD オーディオ出力コネクタと Sound Blaster Live! カードの AUX (AUX\_IN) コネクタに接続します。

デジタル CD オーディオ出力の接続：

- ▶ デジタル CD オーディオケーブルを CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブのデジタル CD オーディオ出力コネクタと Sound Blaster Live! カードの CD SPDIF (CD\_SPDIF) コネクタに接続します。

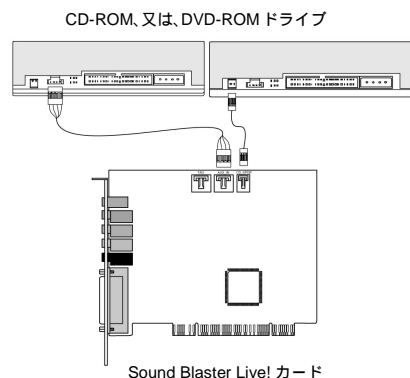


図 1-4 CD-ROM、又は、DVD-ROM ドライブとの接続

## ステップ4: 電源の接続

1. コンピューターのカバーを取り付けます。
2. 電源コードをコンセントに接続し、コンピューターの電源を入れます。

Sound Blaster Live! を他のデバイスに接続する方法については、1-8 ページの「関連周辺機器との 接続」を参照して下さい。

ドライバとソフトウェアのインストールについては、2-1 ページの「ドライバ、及びアプリケーション」を参照して下さい。

## デジタル音楽CD再生を有効にするには

### Windows 98 SE の場合、

1. 左下のスタートメニューから、[ スタート ] [ 設定 ] [ コントロールパネル ] の順に開きます。
2. [ コントロールパネル ] ウィンドウの [ マルチメディア ] アイコンをダブルクリックします。[ マルチメディアのプロパティ ] ダイアログボックスが表示されます。
3. [ 音楽 CD ] タブをクリックし、[ この CD-ROM デバイスでデジタル CD 再生を有効にする ] チェックボックスをクリックして選択します。
4. [ OK ] をクリックします。

### Windows Me の場合、

1. 左下のスタートメニューから、[ スタート ] [ 設定 ] [ コントロールパネル ] の順に開きます。
2. [ コントロールパネル ] ウィンドウの [ システム ] アイコンをダブルクリックします。[ システムのプロパティ ] ダイアログボックスが表示されます。
3. [ DVD/CD-ROM ドライブ ] のツリーの “ + ” をクリックするか、CD-ROM ドライブの形をしたアイコンをダブルクリックします。コンピューターに接続されている使用可能な CD/DVD-ROM ドライブが表示されます。
4. デジタル再生を有効にしたいドライブのアイコンを右クリックします。
5. メニューが表示されますので [ プロパティ ] をクリックします。次に表示されるダイアログボックス内の [ デジタル CD 再生 ] と書かれたボックス内の、[ この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする ] と書かれたチェックボックスをクリックして有効にします。
6. [ OK ] をクリックします。

### Windows 2000 の場合、

1. 左下のスタートメニューから、[ スタート ] [ 設定 ] [ コントロールパネル ] の順に開きます。
2. [ コントロールパネル ] ウィンドウの [ システム ] アイコンをダブルクリックします。[ システムのプロパティ ] ダイアログボックスが表示されます。
3. [ ハードウェア ] タブをクリックし、[ デバイスマネージャ ] ボタンをクリックします。
4. [ DVD/CD-ROM ドライブ ] アイコンをダブルクリックします。コンピューターに接続されている使用可能な CD/DVD-ROM ドライブが表示されます。
5. デジタル再生を有効にしたいドライブのアイコンを右クリックします。
6. メニューが表示されますので [ プロパティ ] をクリックします。
7. 次に表示されるダイアログボックス内の [ デジタル CD 再生 ] と書かれたボックス内の、[ この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする ] と書かれたチェックボックスをクリックして有効にします。

### Windows XP の場合、

1. 左下のスタートメニューから、[ スタート ] [ マイコンピュータ ] とクリックします。
2. [ マイコンピュータ ] ウィンドウ内左側の “ システム情報を表示する ” をクリックします。[ システムのプロパティ ] ダイアログボックスが表示されます。
3. [ ハードウェア ] タブをクリックし、[ デバイスマネージャ ] ボタンをクリックします。
4. [ DVD/CD-ROM ドライブ ] アイコンをダブルクリックします。コンピューターに接続されている使用可能な CD/DVD-ROM ドライブが表示されます。
5. デジタル再生を有効にしたいドライブのアイコンを右クリックします。
6. メニューが表示されますので [ プロパティ ] をクリックします。
7. 次に表示されるダイアログボックス内の [ デジタル CD 再生 ] と書かれたボックス内の、[ この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする ] と書かれたチェックボックスをクリックして有効にします。

## 関連周辺機器との 接続



サウンドカードのジョイスティックコネクタは、標準的なPCゲームコントロールアダプタやゲームI/Oコネクタと同一のもので、15ピンDサブコネクタが装備されたアナログジョイスティックや標準的なPCジョイスティックと互換性のあるデバイスは、全て接続出来ます。

### アナログ/デジタル出力ジャック

**アナログモード(デフォルト)** センタースピーカー、及びサブウーファアのチャンネルに接続します。

**デジタルモード:** デジタルDINケーブル、又は、デジタルケーブル(ミニプラグ/ピンプラグ)を使用して、デジタルスピーカー、MiniDisc、又は、DATに接続します。

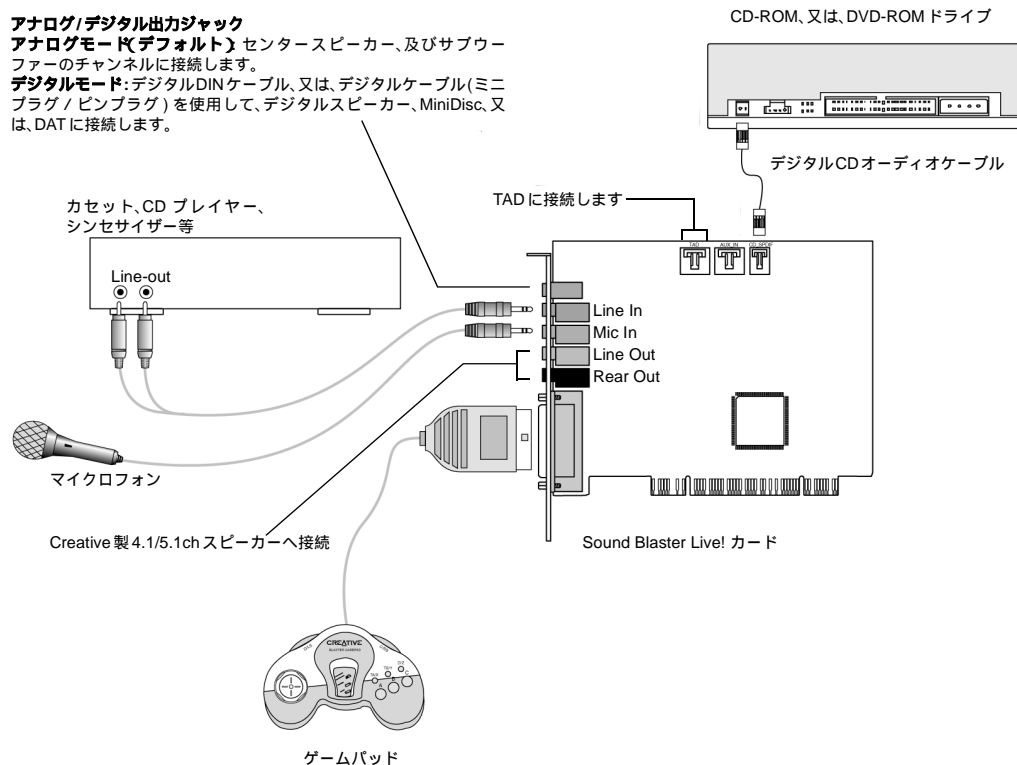
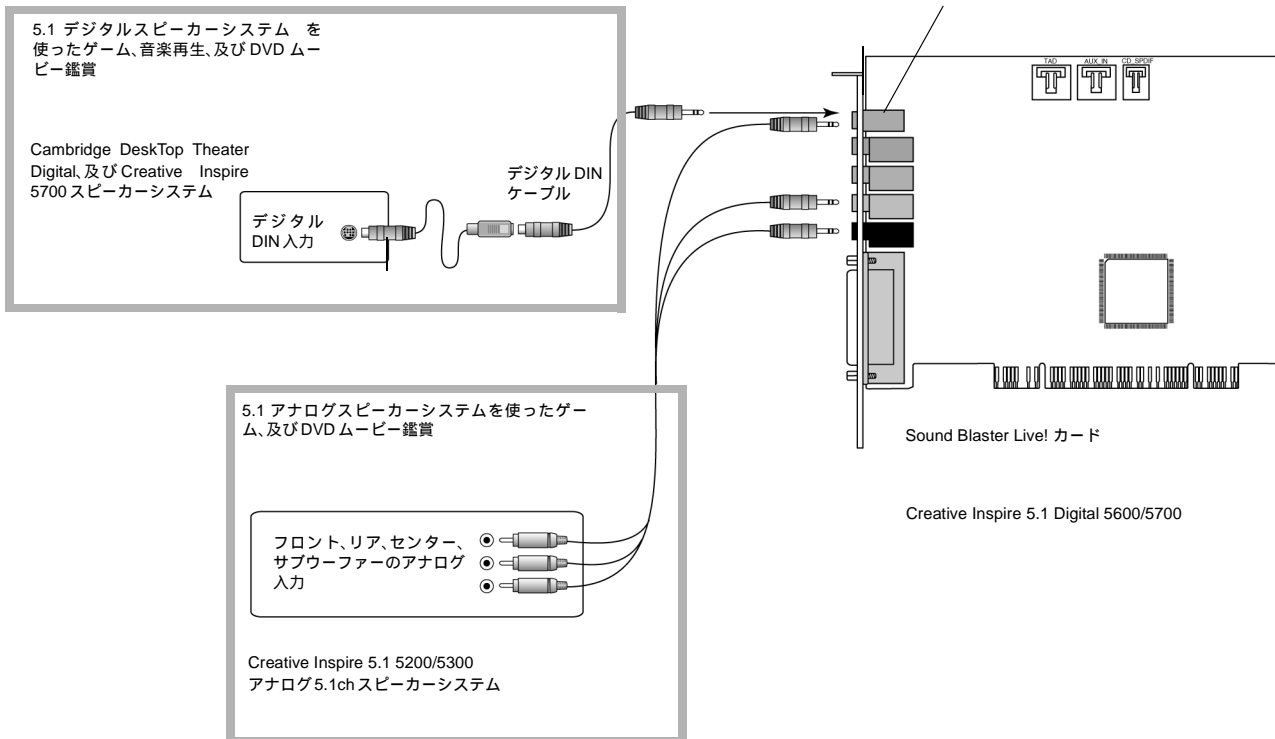


図 1-5 その他の機器の接続

# スピーカーシステム との接続

Sound Blaster Live! とソフトウェア DVD プレーヤーを組み合わせると 5.1 チャンネルサラウンドサウンドのムービーをご覧になれます。



# AV アンプ(アナログ 6ch)への接続

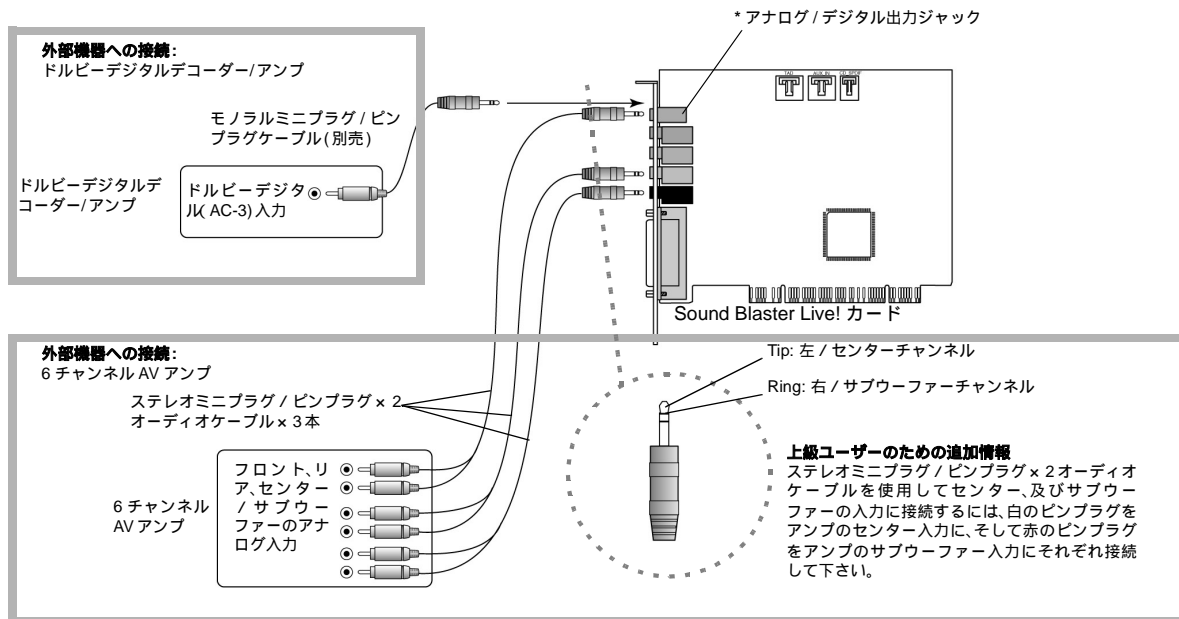


図 1-7 Sound Blaster Live! カードと6チャンネルAVアンプの接続



## スピーカーの配置

6台のスピーカーを使用する場合、リスナーを中心に正方形の四隅の位置に設置し、スピーカーがリスナーの方に向くようにします。コンピューターのモニターがフロントスピーカーからリスナーへの音が伝わる経路を妨げないようにします。最も気に入った位置になるまでスピーカーの相対的な位置を調整します。サブウーファーを使う場合には、最高の低音体感が得られるようにする為に、部屋の角に置きます。

Creative Inspire 5.1 Digital 5600/5700 スピーカーでは、デジタルDIN 接続によって透明なゲームサウンド、及び音楽を体験出来ます。この接続に必要なデジタルDIN ケーブルがスピーカーにバンドルされています。

アナログ5.1チャンネルスピーカーシステム ( Creative Inspire 5.1 5200/5300 ) を接続する場合には、Sound Blaster Live! のセンター、及びサブウーファー出力が可能なアナログ / デジタル出力ジャックを使用します。

ドルビーデジタルのソフトウェアデコードには、Sound Blaster Live! 以外に、このカードをサポートしたドルビーデジタル対応のソフトウェアDVD プレイヤーが必要です。

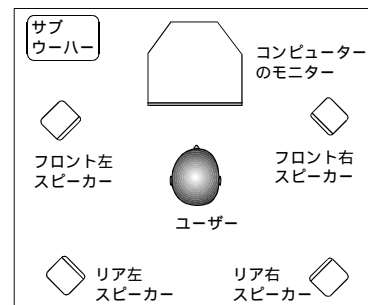


図 1-8 推奨するスピーカー配置

# ソフトウェアのインストール

## ドライバ、及びアプリケーション



このマニュアルのソフトウェアインストールの説明は、お使いの OS のバージョンによって異なる場合があります。インストールの画面と手順は、実際に表示されるものと異なる場合があります。



インストール中に Windows OS の CD を要求される場合があります。その際には OS の指示に従ってインストールを進めて下さい。

Sound Blaster Live! インストールCDには操作に必要なドライバと Sound Blaster Live! カードを最大限に活かすためのユーティリティが含まれています。Sound Blaster Live! を使用する為には、ドライバとユーティリティをインストールする必要があります。以下に記載されているおおまかなインストール手順は、サポート対象の全ての Windows に基本的に(一部手順の違う場合があります)共通です。

インストール CD は、マルチ言語版となっており、日本語版ソフトウェアをインストールする場合には、インストールメニューから [日本語] を選択する必要があります。日本語版ソフトウェアの中には一部、英語版プログラムが含まれています。テクニカルサポートは日本語版ソフトウェアのみ (Creative 製ソフトウェアのみ) を対象とさせていただきます (他言語をインストールした場合、及び英語版ソフトウェアは非サポートです。あらかじめご了承ください)。

1. Sound Blaster Live! カードを取り付け、コンピューターを起動すると、Windows は自動的にサウンドカードを検出します。[新しいハードウェアの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されたら [キャンセル] ボタンをクリックします。ダイアログが表示されない場合は手順 2 に進んで下さい。
2. CD-ROM ドライブに Sound Blaster Live! インストール CD を挿入します。この CD は Windows の自動再生モードに対応しており、インストール画面が自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、B-1 ページの「ソフトウェアのインストールに関する問題」を参照して下さい。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



図 2-1 ドライバをインストールするダイアログ (画面は Windows 98 SE のものです)

## 注意事項： Windows 2000 を ご使用の場合

Windows 2000 のシステムへ Sound Blaster Live! のソフトウェアをインストール中、図のような画面が表示される場合があります。

Sound Blaster Live! のソフトウェアを正しくインストールするために、必ず以下の手順でインストールを続行して下さい。

- 図 2-2 のような画面が表示された場合：

「はい(Y)」ボタンをクリックし、インストール作業を続行して下さい。

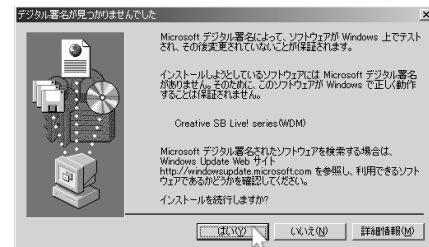


図 2-2 デジタル署名が見つかりませんでした

- 図 2-3 のような画面が表示された場合：

「キャンセル」ボタンをクリックして、インストール作業を続行して下さい。

**注意：**ここで誤って Windows 2000 CD-ROM を挿入した場合、Sound Blaster Live! のソフトウェアが正しく動作しないことがあります。そのような時は、もう一度 Sound Blaster Live! のソフトウェアをインストールし、図 2-3 の画面が表示されたときにあらためて「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。



図 2-3 Windows ファイル保護

## アプリケーション の削除



Windowsの種類によって[コントロールパネル]を表示させる操作が異なります。お使いのWindows上での操作の詳細はWindowsのオンラインヘルプをご覧ください。



Windows XPの場合は、[プログラムの追加と削除] (Windows 2000の場合は、[変更/削除]) になります。画面上のメニューやダイアログボックス、ボタン等の表記は、Windowsの種類によって異なる場合があります。実際の操作はお使いのWindows上での表示/表記にてらし合わせて行って下さい。

問題を解決したり、コンフィギュレーションを変更したり、バージョンを更新するためにアプリケーションを再インストールする前に、下記の手順でアプリケーションを完全に削除して下さい。

アプリケーションをアンインストールするには：

1. Sound Blaster Live! カードのアプリケーションを起動している場合は終了させます。このアプリケーションには、タスクバーに常駐している Sound Blaster Live! アイコンも含まれます。アンインストール中に起動しているアプリケーションは削除されません。
2. [スタート]、[設定]、[コントロールパネル]の順にクリックします。
3. [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。  
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスが表示されたら [Sound Blaster Live!] を選択し、[追加/削除] ボタンをクリックします。
4. [Install Shield Wizard] から、[削除] チェックボックスをクリックします。
5. 全てのアプリケーションが削除されます。この [Install Shield Wizard] では、[削除] 以外にも [変更]、及び [修正] も出来ず。詳細は [Install Shield Wizard] 画面の説明をご覧ください。
6. [OK] ボタンをクリックして [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。
7. コンピューターの再起動を要求された場合は再起動します。

## ソフトウェアの再インストール

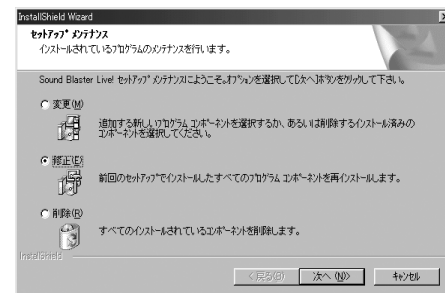
オーディオドライバの破損が考えられる場合は、インストールCDから再度ソフトウェアをインストールします。これは [Install Shield Wizard] を使います。

1. CD-ROM ドライブにインストールCDを挿入します。

このCDはWindowsの自動再生モードに対応しており、自動的に起動します。

自動的に起動しない場合はB-1ページの「ソフトウェアのインストールに関する問題」を参照して下さい。

2. [Install Shield Wizard] ダイアログボックスが表示されたら [修正] ボタンをクリックします。
3. 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



## Sound Blaster Live! の使用

### Sound Blaster Live! の使用



Sound Blaster Live! にバンドルされているアプリケーションは、説明と異なる場合があります。

さまざまなソフトウェアが Sound Blaster Live! を支え、Sound Blaster Live! を最大限に活かすためのお手伝いをします。

- Creative Surround Mixer
- Creative AudioHQ
- Creative Diagnostics
- Creative Wave Studio
- Creative PlayCenter
- Creative Recorder

Creative PlayCenter を起動するには：

1. [スタート]、[プログラム]、[Creative]、[Creative PlayCenter] の順にクリックし、[Creative PlayCenter] をクリックします。

Creative ソフトウェアアプリケーションを起動するには：

1. [スタート]、[プログラム]、[Creative]、[Sound Blaster Live!] の順にクリックし、起動したいアプリケーションをクリックします。

Sound Blaster Live! に含まれるソフトウェアの詳細な操作方法は、使用するソフトウェアのオンラインヘルプで説明されています。

## Creative Surround Mixer



Surround Mixer の設定を元に戻すには、[スタート]メニューから[プログラム]の [Creative] をポイントします。

そして、[Sound Blaster Audigy] をクリックし、[Creative Restore Defaults] をクリックします。

Creative Surround Mixer は、以下の操作でメインアプリケーションとして使用出来ます。

- スピーカーのテスト
- EAX対応オーディオエフェクトの適用
- さまざまなオーディオ入力ソースからのサウンドのミキシング
- オーディオエフェクトの設定

Surround Mixer には2つのモードがあります。[ベーシックモード] 又は、[アドバンスドモード] をクリックすることで、各モードを切り替えます。

ベーシックモードでは、Mixer パネルが表示されます。ここでは、以下の操作を実行出来ます。

- 再生、又は、録音時におけるさまざまなオーディオ入力ソースからのサウンドのミキシング
- ボリューム、バスとトレブルのレベル、バランス、及びフェードのコントロール

アドバンスドモードでは、Surround Mixer と Mixer パネルが表示されます。Surround Mixer では、以下の操作を実行出来ます。

- オーディオエフェクトの選択
- スピーカー出力の指定
- スピーカーテストの実行

Creative Surround Mixer の使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。

## Creative AudioHQ

AudioHQ は、Creative オーディオソフトウェアのコントロールセンターです。

AudioHQ インタフェイスで、コンピューターに取り付けられたオーディオデバイスのオーディオプロパティの表示、試聴、設定を行うことの出来るコントロールアプレットを利用出来ます。

AudioHQ のメインウィンドウでも、コントロールパネルと同じ要領で、コントロールアプレットを大小のアイコン形式で表示したり、一覧、又は、詳細な一覧で表示出来ます。又、アプレットビューでは、全ての項目を選択したり、選択の解除を行うことが出来ます。

Creative AudioHQ の使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。

## Creative Diagnostics

Creative Diagnose を使うと使用するオーディオカードの Wave、MIDI、又は、CD のオーディオ再生、録音、及びスピーカー出力に関する機能を短時間でテスト出来ます。Creative Diagnostics の使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。

## SoundFont コントロール

SoundFont コントロールを使うと SoundFont ファイルやインストゥルメント、又は、DLS ファイルや WAVE ファイルで MIDI バンクを設定したり、キャッシュアルゴリズムやスペースを設定したり出来ます。SoundFont Control コントロールの使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。

## Creative キーボード

Creative Keyboard は MIDI デバイスで作成された譜面をオーディションしたり再生することの出来るバーチャルキーボードです。

## EAX Control

EAX コントロールにより EMU10K1 エフェクトエンジンの設定が可能となります。

エンバイロメントオーディオはオーディオ要素から成り、オーディオ要素は低レベルのコンポーネントから成るわけですが EAX コントロールは、この低レベルコンポーネントを指定することが出来ます。

まるでその場に居合わせたかのようなサウンドに驚かれるかもしれません。イメージが浮かびそれが本当に目前に広がっているように感じられるでしょう。ゲームや、ミュージック、その他のオーディオ用途においてリアルな音声とインタラクティブなオーディオ体験を再現するコンピューター業界で初めてのシステムです。オーディオエフェクトによってコンピューターがホームシアター品質を上回るほどの能力を獲得します。このようなシステムから発せられるサウンドに夢中になると、非常に多彩なイマジネーションの中で、目の前に実物が浮かび上がります。オーディオエフェクトの効果は、今日のサラウンドサウンドと 3D ポジショナルオーディオを越えるものであり、部屋の大きさや、音響特性、リバーブ、エコー、その他の多様なエフェクトを考慮することで、実世界の音響空間をモデル化することに成功しています。

EAX コントロールの使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。

## Creative Wave Studio

Creative WaveStudio は WAVE 形式のファイルを編集するための、簡易エディタです。Creative Wave Studio を使用して以下のことが出来ます。

- 8/16bit、サンプリングレートは最大 48kHz までの WAVE 形式のファイルの再生、編集、及び録音
- 波形反転、エコー、ミュート、パン、カット、コピー、ペースト、サンプリングレート変換といった基本的な編集機能
- 複数のファイルを開いて編集
- MP3 (.mp3)、RAW (.raw)、WAV (.wav) の各形式に対応

Creative WaveStudio の使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。



## Creative PlayCenter

Creative PlayCenter は革新的なオーディオ CD、及びデジタルオーディオ (MP3 や WMA など) プレイヤーです。コンピューターに保存されたお気に入りのデジタルオーディオファイルの管理に加え、オーディオ CD のトラックを圧縮デジタルオーディオファイルにリッピングするための MP3/WMA 統合エンコーダーにもなります。最大で 320kbps でトラックをエンコードすることができます。

Creative PlayCenter の使い方に関する詳細は、オンラインヘルプを参照して下さい。

**メモ：** Microsoft の DRM (著作権保護) 技術で保護された音楽トラックは、DRM に対応したプレーヤーでのみ再生することができます。また、違法コピーを防ぐために、DRM で保護されたトラックを再生中はデジタル出力が無効になる場合があります。

## Creative Recorder

マイクやオーディオ CD といったさまざまな入力ソースのサウンドやミュージックを録音し、Wave ファイル (.wav) として保存することができます。Creative Recorder の使い方に関する詳細は オンラインヘルプを参照して下さい。

# 仕様

この項では、サウンドカードの仕様を示します。

## 特徴

### PCI バスマスター

- PCI仕様バージョン2.1 互換
- バスマスター方式によりオーディオ処理の際のシステム負荷を低減

### EMU10K1™

- ハードウェアにより向上したデジタルエフェクト処理のアクセラレーション
- 理論上 192dB のダイナミックレンジを実現する内部 32 ビット演算処理
- 最高品質のオーディオ再生を実現する、特許を受けた 8 ポイント補間
- ハードウェアによる 64 ボイスのウェーブテーブルシンセサイザー
- プロ品質のデジタルミキシング、及びイコライザー処理
- 最大 32MB のサウンドサンプルを PC のメインメモリーにマップ

### ステレオデジタルボイス チャンネル

- 真の 16 ビット全二重動作
- ステレオ、モノラル両モードで 16 ビット、及び 8 ビットでデジタル化
- それぞれ任意のサンプリングレートで 64 のオーディオチャンネルを再生
- 8、11.025、16、22.05、24、32、44.1、及び 48 kHz のレコーディングサンプリングレート
- 8 ビット、及び 16 ビットレコーディングのディザリング

### AC '97 Codec ミキサー

- EMU10K1 のオーディオソースと、CD オーディオ、ライン入力、マイクロフォン、Aux、TAD、そして PC スピーカーなどのアナログソースをミキシング

- 録音する入力ソースや、さまざまなオーディオソースのミキシングを選択可能
  - アナログ入力を 48 kHz サンプルレートを / 16 ビットでアナログデジタル変換
- ボリュームコントロール
- ソフトウェアにより、マスターやデジタルボイス、そしてMIDIデバイス、CD オーディオ、ライン入力、マイクロフォン、Aux 入力、TAD、SPDIF、Wave/DirectSound デバイス、CD デジタル( CD SPDIF)からの入力の録音と再生をコントロール
  - バスとトレブルを個別にコントロール
  - フロントとリアのバランスをコントロール
  - 再生するソースのミュートとバランスを個別にコントロール
- ドルビーデジタル( AC-3)デコーディング
- ドルビーデジタル( AC-3 )をアナログ 5.1 チャンネルで出力
  - バスリダイレクションで重低音再生を強化
- Creative Multi-Speaker Surround™ (CMSS™)
- マルチスピーカーテクノロジー
  - プロ品質のパンニング、及びミキシングアルゴリズム
  - 複数のサウンドを個別に動かし、リスナーの周囲に定位可能

## 接続性

### オーディオ入力

- リアブラケット上のステレオミニジャックによるラインレベルのアナログライン入力
- リアブラケット上のステレオミニジャックによるモノラルマイクアナログ入力
- カード上の4ピン Molex コネクタによるラインレベルのCD\_INアナログ入力（一部のモデルのみ）
- カード上の4ピン Molex コネクタによるラインレベルのAUX\_INアナログ入力
- カード上の4ピン Molex コネクタによるラインレベルのTADアナログ入力
- 32、44.1、及び48 kHzのサンプリングレートに対応する、カード上の2ピン Molex コネクタのCD\_SPDIF デジタル入力

### オーディオ出力

- リアブラケットのミニジャックによるアナログ / デジタル出力
  - アナログ出力：センターチャンネル、及びサブウーファーチャンネル
  - デジタル出力：SPDIF デジタル出力（デジタルDIN コネクタ使用時）及びAC-3 パススルー出力
- リアブラケットのステレオミニジャックによる、ライン出力、及びリア出力、センター出力、サブウーファー出力
- ライン出力でステレオヘッドフォン（インピーダンス32オーム）をサポート

### インタフェイス

- D-Sub15 ピン ジョイスティック / MIDI インタフェイス
- PC\_SPK 1 × 2 ピンヘッダー

## トラブルシューティング

### ソフトウェアのインストールに関する問題

**Windows 環境で、Sound Blaster Live! インストールCDをドライブに挿入しても、自動的にインストールプログラムが起動しない。**

Windows の自動再生機能が有効になっていない可能性があります。

*[マイコンピュータ]のショートカットメニューを使用してインストールプログラムを開始するには：*

1. Windows デスクトップの [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
2. [マイコンピュータ] ウィンドウで、CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックします。
3. ショートカットメニューで [自動再生] をクリックし、画面の指示に従います。

*自動挿入機能を使用して自動再生を有効にするには*

1. [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントして [コントロールパネル] をクリックします。
2. [コントロールパネル] ウィンドウの [システム] アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ] ダイアログボックスの [デバイスマネージャ] タブをクリックし、CD-ROM ドライブを選択します。
4. [プロパティ] ボタンをクリックします。
5. [プロパティ] ダイアログボックスの [設定] タブをクリックし、[自動挿入] チェックボックスが選択されていることを確認します。
6. [OK] ボタンをクリックしてダイアログボックスを終了します。

## サウンドに関する 問題



システムソフトウェアの操作経験がない限り、BIOS の変更は行わないで下さい。

### **IRQ が競合しています。**

IRQ の競合を解決するには、以下を試して下さい。

- オーディオカードを別の PCI スロットに取り付けます。
- システム BIOS で [ アドバンスコントロール ] 及び [ IRQ 共有 ] を許可するパワーインタフェースを有効にします。

### **オーディオファイルが再生されたとき、予期しない過剰な環境サウンド、又は、エフェクトが生じた。**

不適切な環境プリセットが最後に選択されている可能性があります。

適切な環境に切り換えるには

1. [ AudioHQ ] から [ EAX コントロール ] アプレットを開きます。
2. オーディオエフェクトの [ No effects ] 又は、適当な環境を選択します。

### **ヘッドフォンから音が出ない。**

以下を確認して下さい。

- ヘッドフォンがライン出力 (LIN\_OUT1) ジャックに接続されていること。
- サラウンドミキサーのメインデッキで、スピーカーの選択が「ヘッドフォン」になっていることを確認します。
- サラウンドミキサーのメインデッキで、レコーディングソースの選択が「再生リダイレクト (What U Hear)」になっていることを確認します。

#### **4スピーカー、又は、5.1スピーカー配置では、リアスピーカーからの音が出ない。**

以下を確認して下さい。

- リアスピーカーが、カードのRear Outジャックに接続されていること。
- 以下のいずれかのソースからサウンドを再生している場合。
  - CD Audio
  - Line In
  - TAD
  - Auxiliary (AUX)
  - マイクロフォン

*問題を解決するには*

1. Surround Mixerの[再生コントロール]で、再生しているソースのチェックボックスのミュートが解除され、そのソースが有効となっていることを確認します。
  2. 録音のソースと同じソースを選択します。  
例えば、DVDゲームのプレイやDVDムービーの再生を行っている場合は、Surround MixerでAuxiliaryデバイスのミュートを解除し、録音ソースとしてAuxiliaryデバイスを選択して下さい。
- 環境を変更した場合は、アクティブなソースのミュートが解除されていることをSurround Mixerで確認して下さい。

#### **スピーカーから音が出ない。**

以下を確認して下さい。

- まず最初にスピーカーがサウンドカードの出力に接続されていることを確認します。次に、正しいソースのミュートが解除されていることをMixerデッキで確かめます。それでもまだ音が聞こえない場合はVOLつまみの上にある赤いプラス記号をクリックし[デジタルアウトのみ]チェックボックスが選択されているかどうか確認します。このチェックボックスが選択されている場合は[デジタルアウトのみ]モードになっているので、サウンドカードからの音を聞くにはデジタルスピーカーを接続しなければなりません。詳しくは、Surround Mixer オンラインヘルプの[デジタルアウトのみ]の項を参照して下さい。

**.wav ファイルやMIDI ファイル、AVI クリップなどのデジタルファイル再生時、オーディオが出力されない。**

可能性のある原因は、以下のとおりです。

- スピーカーのボリュームつまみが適切に設定されていない。
- 外付けアンプ、又は、スピーカーが誤ったジャックに接続されている。
- ハードウェアコンフリクトが起きている。
- Surround Mixer の[メインデッキ]でスピーカーが正しく選択されていない。
- EAX コントロールの[マスター]タブ、又は、[ソース]タブ、あるいはその両方のページで[オリジナルサウンド]スライダーが0% に設定されている。

以下を確認して下さい。

- スピーカーの音量コントロールノブがある場合、中程度の範囲にします。Creative Mixerを使うと必要に応じて音量を調整出来ます。
- アンプ内蔵スピーカー、又は、外部アンプはカードのライン出力、又は、リア出力ジャックに接続します。
- カードと周辺機器がコンフリクトを起こしていないこと。B-9ページの「I/O コンフリクトの解決方法」を参照して下さい。
- スピーカー、又は、ヘッドフォンに対応する[スピーカー構成]の選択。
- [EAXコントロール]ダイアログの[マスター]、及び[ソース]タブページのマスターオリジナルサウンドのエフェクト量スライダーが100% に設定されている。





ドライブ (CD-ROM、DVD-ROM、CD-RW、DVD-RAM 等) のモデルによっては、デジタル CD 再生に未対応の場合があります。お使いのドライブがこの機能をサポートしているか事前にご確認下さい。

- PCMCIA カードの ATA コントローラー経由で接続される外付け CD/DVD-ROM ドライブの中にはデジタル CD 再生に対応していないものもありますのでご注意ください。
- 音楽 CD 再生時のボリュームは Creative Surround Mixer 中の Wave/MP3 になります。

## CD-Audio 再生時、オーディオが出力されない。

問題を解決するには：

- CD-ROM ドライブの Analog Audio コネクタとサウンドカードの CD In コネクタが接続されていることを確認します。

### 音楽 CD を再生しても音が出ない

CD オーディオケーブルを Sound Blaster Live! に接続せず、PCIバス経由で音楽 CD を聴くには、デジタル CD 再生が有効になっている必要があります。下記の手順に従ってデジタル再生を有効にして下さい。

#### Windows 98 SE の場合

1. [スタート] をクリックしてスタートメニューを開きます。
2. [設定]、[コントロールパネル] の順にクリックし、コントロールパネルを開きます。
3. コントロールパネル内の [マルチメディア] アイコンをダブルクリックします。
4. [マルチメディアのプロパティ] のダイアログボックスの中から [音楽 CD] タブを選択します。
5. [この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする] のチェックボックスにチェックをします。
6. [OK] をクリックします。

#### Windows Me の場合

1. [マイコンピュータ] のアイコンを右クリックします。
2. [プロパティ] をクリックします。
3. [システムのプロパティ] ダイアログボックスの中から [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
4. [DVD/CD-ROM ドライブ] アイコンをダブルクリックします。
5. お使いになっているドライブの名前が表示されますので名前の上で右クリックします。
6. [プロパティ] をクリックします。
7. [プロパティ] タブをクリックし、ダイアログボックスを開きます。
8. [この CD-ROM デバイスでデジタル音楽 CD を使用可能にする] にチェックをします。
9. [OK] をクリックします。

Windows 2000/XP の場合

1. コントロールパネルを開きます。
2. コントロールパネルの中にある[システム]アイコンをダブルクリックします。
3. [システムのプロパティ]ダイアログボックスの中の[ハードウェア]タブをクリックします。
4. [デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
5. [DVD/CD-ROM ドライブ]アイコンをダブルクリックするとお使いのドライブの名前が表示されます。
6. ドライブ名の上で右クリックします。
7. メニューが現れたら[プロパティ]をクリックします。
8. [プロパティ]タブをクリックし、ダイアログボックスを開きます。
9. [このCD-ROM デバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]にチェックします。
10. [OK]をクリックします。

## VIA チップセットの マザーボードの一部 に見られるファイル 転送の問題

Sound Blaster Live! カードを VIA チップセットのマザーボードに取り付けると、ごく一部ですが次のような問題が生じる場合があります。

**サイズの大きなデータを転送すると、コンピューターが反応しなくなったり(「ハング」したり)、自動的に再起動されたり、あるいはデータが別のドライブから完全に転送されなかったり破損したりする。**

これらの問題は、マザーボードに VIA VT82C686B コントローラーチップセットが組み込まれた、ごく一部のコンピューターに見られます。

マザーボードにVT82C686B チップセットが組み込まれているどうか確認するには:

- コンピューターのマザーボードのマニュアルを参照するか、又は

□ Windows 環境の場合：

1. [ スタート ]、[ 設定 ]、[ コントロールパネル ] の順にクリックします。
2. [ システム ] アイコンをダブルクリックします。
3. [ デバイスマネージャ ] 又は、[ ハードウェア ] タブをクリックします。
4. [ システム デバイス ] アイコンをダブルクリックします。
5. 表示されたリストに、図 B-1 に示されている項目が含まれているかどうか確かめます。
6. これらの項目が表示されている場合は、コンピューターのカバーを取り外し、マザーボード上の VIA チップセットの場所を確かめます。  
( 1-3 ページの安全上の予防措置に注意して下さい )  
VT82C686B チップセットには、チップ上にモデル番号が記載されています。

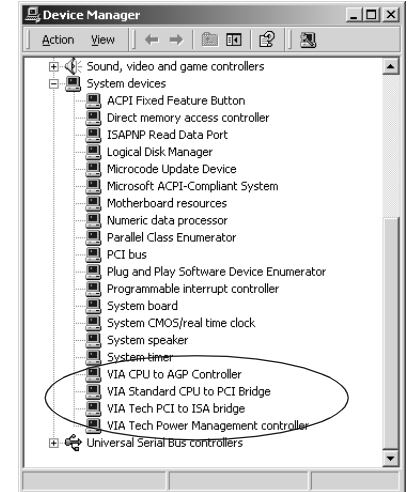


図 B-1 [ デバイスマネージャ ] タブ

VT82C686B チップセットが含まれている場合：

- まず最初にコンピューター販売店もしくはマザーボードの製造元に連絡し、最新の解決策を入手することをお勧めします。
- 次のいずれか、又は、両方を行うことによって、上記の問題を解決することが出来ます。
  - <http://www.viatech.com> から VIA 4in1 ドライバをダウンロードする
  - マザーボードの最新の BIOS を製造元のウェブサイトから入手する

これらのウェブサイトのコンテンツは、他社の管理下にあります。Creative は、これらのウェブサイトから得た情報やダウンロードに対して責任を負いません。この情報は、ユーザーの便宜をはかることのみを目的として提供されています。

## 不十分な SoundFont キャッシュ

**SoundFonts をロードするためのメモリーが不十分である。**

SoundFonts に割り当てられたメモリーが不十分なまま、SoundFont 互換 MIDI ファイルがロードされたり再生されていると、この状態になることがあります。

## ジョイスティックに関する問題



システムに重大な問題が発生する事をさける為、十分な BIOS に関する知識と操作経験がない場合には、ご自身で BIOS の変更は行わないで下さい。

*SoundFont キャッシュを多く割り当てるには*

- ▶ [ SoundFont コントロール ] ダイアログのオプションタブページで、SoundFont キャッシュスライダーを右に移動します。割り当てられる SoundFont キャッシュは、コンピューターの使用可能なメインメモリーに依存します。

*コンピューターの使用可能なメインメモリーがまだ不足している場合*

- ▶ [ SoundFont コントロール ] ダイアログの [ バンク ] タブで [ 設定バンク ] ボックスで設定されている SoundFont バンクを容量の小さいものに変更します。

**ジョイスティックが動作しない。**

サウンドカードのジョイスティックポートとシステムのジョイスティックポートがコンフリクトを起こしています。

*問題を解決するには*

- ▶ サウンドカードのジョイスティックポートを無効にし、代わりにシステムのジョイスティックポートを使用して下さい。

### **ジョイスティックが適切に動作しないプログラムがある。**

プログラムはシステムのプロセッサタイミングを使用してジョイスティックの位置を計算する場合があります。プロセッサが高速だとプログラムがジョイスティックの位置を範囲外と推定し、誤って決定してしまうことがあります。

*問題を解決するには*

- ▶ 通常 [ チップセットの機能設定 ] セクションにあるシステム BIOS 設定の 8 ビット I/O リカバリータイムの値を大きくします。もし可能ならば、AT バススピードを調節してクロックを遅くするのも有効です。それでも問題が解決しない場合は別のジョイスティックをお試し下さい。

サウンドカードと別の周辺機器が同じ I/O アドレスを使用するように設定されていると、コンフリクトが発生することがあります。

I/O コンフリクトを解決するには、Windows のデバイスマネージャを使用して、サウンドカード、又は、コンフリクトを起こしている周辺機器のリソース設定を変更して下さい。

どのカードがコンフリクトの原因となっているか分からない場合は、サウンドカードやその他の基本的なカード (例えばディスクコントローラーやグラフィックスカードなど) 以外のカードを一度、全て取り外し、デバイスマネージャがコンフリクトの発生を示すまで再度 1 枚ずつカードを取り付けていきます。

*Windows 95/98 環境でハードウェアコンフリクトを解決するには*

1. [ スタート ] ボタンをクリックし、[ 設定 ] をポイントして [ コントロールパネル ] をクリックします。
2. [ コントロールパネル ] ウィンドウの [ システム ] アイコンをダブルクリックします。
3. [ システムのプロパティ ] ダイアログボックスの [ デバイスマネージャ ] タブをクリックします。
4. [ サウンド、ビデオ、及びゲームのコントローラ ] からコンフリクトを起こしているサウンドカードを選択し [ プロパティ ] ボタンをクリックします。コンフリクトを起こしているデバイスは感嘆符 (!) で示されます。
5. [ プロパティ ] ダイアログボックスの [ リソース ] タブをクリックします。
6. [ 自動設定 ] チェックボックスが選択されていることを確認し、[ OK ] ボタンをクリックします。
7. Windows がサウンドカード、及びコンフリクトを起こしているデバイスにリソースを割り当て直すことが出来るように、コンピューターを再起動します。

## **I/O コンフリクトの解決方法**



Windows のヘルプファイルにある「トラブルシューティング」の項を参照することもできます。

## Windows XPでの問題

Microsoft社は各ベンダーに対してMicrosoft社による検定のためのソフトウェアを提出することを強く勧めました。ハードウェア機器のドライバが提出されなかった場合、又は、Microsoft 検定に合格しなかった場合、下図のような警告メッセージが表示されます。



Creative ドライバのインストール時にこの警告メッセージが表示されるかもしれませんがその場合は [ 続行 ] ボタンをクリックして下さい。弊社ではWindows XP 上でドライバのテストを行いコンピューターの性能を低下させ不安定にしないことを確認しています。